



パーキンソン病 ～手がふるえるのは歳のせい?～

脳神経内科 林 茂



ふるえには、さまざまな原因がありますが、身体力を抜いている状態で認められるふるえは、安静時振戦といい、パーキンソン病に特徴的なものです。

パーキンソン病は、運動症状を主体とした、緩徐に進行する疾患です。主な運動症状には、振戦以外に、無動、寡動、筋強剛、姿勢反射障害があります。また、非運動症状も認められ、不眠や突発的睡眠といった睡眠障害、気分の落ち込み、不安、幻覚といった精神症状、便秘や頻尿等の自律神経症状があります。

パーキンソン病では、中脳の黒質の神経細胞が減少することにより、ドパミン含量が低下するために、症状が出現します。

パーキンソン病の治療は、薬物療法が主体で、

ドパミンを補充するL-DOPAが中心ですが、ドパミン作動薬やMAO-B阻害薬等を組み合わせ、治療を

行います。症状の出方や薬物の効果、副作用、吸収率は患者さんそれぞれで異なりますので、その人に合わせて薬の量や種類を調整することになります。

パーキンソン病患者さんの平均寿命は一般の平均寿命とさほど変わらない程度とされており、早めに様々な治療を行うことにより良好な状態を長期間保つことができるようになってきています。

◆脳神経内科（受付時間 8時30分～11時30分）

	月	火	水	木	金
午前	林	松原	林	鍛治	古田

※事前予約が必要です。

ふれあい地域医療センター（医療機関からの予約専用 TEL 0766-422-1114）にご連絡ください。

研修・講演・学習会のご案内



1. 拡大版地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

※12月は、症例検討2例、ミニレクチャー1題の拡大版で開催いたします。

先生方のご参加をお待ちしております。（日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコードの付与は、3つとなります。）

※会場参加をご希望の先生は、ふれあい地域医療センターまでご連絡をお願いいたします。

日時：12月12日（火） 19：00～20：30

場所：当院3階 講堂

1) 症例検討

(1) 『高度な貧血を契機に見つかった腎盂尿路上皮癌と腎細胞癌の同時同側性重複癌の1例』

泌尿器科 中野 泰斗

(2) 『タイトル未定』

ムラヤマ歯科 村山 偉知朗 先生

2) ミニレクチャー

『動物咬傷、クマ外傷について』

形成外科 宮下 松樹

日常診療において動物咬傷はしばしば遭遇する外傷であり、その動物や受傷部位、経過については多種多様である。多くは外来での通院治療で軽快するが、一部には入院や手術など難渋する症例も経験する。

また、近年野生動物と人との緩衝帯として機能して来た里山の荒廃や耕作放棄地の増加などを原因とする環境変化に伴い、クマと人が遭遇する機会が増えており、クマの目撃例やクマによる外傷例も増加傾向にある。

クマ外傷は、クマの殴打や爪、牙によって全身に生じるが、特に顔面や頭部に多い。クマによる頭頸部の外傷は裂傷や挫滅のみならず、骨折や眼球損傷、頭蓋内合併症など重篤な損傷を生じる。

また、細菌感染や破傷風の予防が必要であり、創部の十分な洗浄と抗菌薬治療、破傷風トキソイドと抗破傷風人免疫グロブリンの投与を行う。

クマ外傷の診療にあたっては、顔面軟部組織損傷と感染症予防に対する知識が重要である。

予告

※1月の地域連携症例検討会の開催はありません。

次回の開催は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

日時：令和6年2月13日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 1例（担当）産婦人科

②ミニレクチャー 1題（担当）脳神経内科

2. 腎臓病教室

日時：令和6年2月22日（木） 13：30～15：45

場所：当院3階 301会議室

腎臓病教室に関するお問い合わせは、内科外来までご連絡ください。



作：病院ボランティア 篠崎 佳子



研修医のひとりごと

臨床研修医 青山 知裕



『ダンス・ダンス・ダンス』(著・村上春樹)に“文化的雪かき”という表現がある。コピーライターである主人公が、好きか嫌いかに関わらず誰かがやらなければならないことを雪かきに喩えて、自身の仕事をそのように呼んでいる。

流行り病で外出が敬遠されていた頃、学生だった私は多くの時間を読書に費やしていた。作家さんが紡ぐ美しい表現を自分の中で再構成し、その情景を想像する作業は、自宅内でできる世界旅行のようであった。なかでも印象的だった表現の1つが“文化的雪かき”だった。

富山県では、冬になると「雪と汗のひとかき運動」

と書かれた共用除雪スコップが設置される。小学生の頃、下校途中にそのスコップで雪かきに没頭するあまり、帰りが遅くなって家族に心配されたことを思い出す。私有地でもない公共の場所のために除雪をすること、そしてその取り組みが続けられていること、地域に根づくそれらの要素を短く言葉にするのであれば、まさに“文化的雪かき”だなと腑に落ちた。

学生から社会人へと立場が変わり、今の私が地域にできることは何かを問い続ける日々である。富山の良い文化を引き継ぐ一市民として、与えられた役割を大切にしていきたい。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

12月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
外科	藤村	1日、8日、15日、22日	精神科	結城	7日、8日
	宮下知	8日、15日、19日	小児科	西橋	8日
	佐々木	8日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	14日
	竹下	15日	皮膚科	野村佳	13日
	名倉	7日		大村	14日、22日
整形外科・関節再建外科	重本	8日	歯科口腔外科	寺島	27日、28日
麻酔科	松浦	1日		朽名	22日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

小春日和が続いた11月の三連休に3歳になった男の子の七五三参りに行ってきました。神社の社頭には晴れ着姿のたくさんの親子連れが参拝に来ていました。

御祈禱していただき、子どもの健やかな成長を願うとともに、成人するまでしっかり育てなければという思いがこみ上げてきました。ニュースで子どもが事件や事故で亡くなったと聞くと、我が子を成人まで育てることの大変さ、そして自分を育ててくれた両親に感謝の気持ちが湧いてきます。子どもが成人するまで長いですが、健やかに成長できるよう見守り育てていきたいと思います。

ふれあい地域医療センター 池田満智子



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp